

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/ /

研究課題名	回復期における失語症状の回復予測因子
研究の対象	2019年4月～2026年3月の期間に回復期病院において、医師により脳血管障害による失語症として言語療法の指示が出された後、神経心理学的検査が行われ、発症から2か月間以上の言語訓練を受けた者を対象とする。視覚もしくは聴覚に著明な障害がある者、認知症の診断を受けた者は除外する。
研究目的	集中的に言語訓練を行うことのできる回復期に焦点を当て、集積した失語症の症例群を後方視的に検討し、失語症における回復予測因子を抽出することを目的とする。回復期における言語治療の精度を高め、治療効果を向上させるための基礎的知見を得る。
研究方法	回復期病院にて、失語症者の標準失語症検査（以下 SLTA）における入院時の検査成績と退院時における成績との差分をもとに、改善の変化量と患者の神経心理学的検査成績および基礎的・身体的・社会的諸因子との関連を探索する。
研究に用いる試料・情報の項目 （例：血液、検査データ、診療記録等）	具体名：神経心理学的検査として SLTA、RCPM、Kohs、WAIS、CAS の値、年齢・性別などの基礎的情報、運動麻痺の有無・機能的自立度評価法値などの身体的情報、復職復学希望・言語療法実施回数などの社会的情報
研究期間	倫理委員会承認後～2027年3月31日
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	匿名化した資料を共同研究者に提供する。院内での保管は研究分担者が保管する。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	中村 光 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科
研究責任者および試料・情報の管理責任者（共同研究の場合は研究代表者）の氏名及び所属する研究機関の名称	同上
上記以外の研究機関の名称	上記と当院のみ
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご質問のお問い合わせ先	社会医療法人寿会 富永病院 リハビリテーション部 奥村正平 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-48 TEL:06-6568-1601 FAX:06-66568-1608 Email: rehapost@tominaga.or.jp 研究分担者 奥村正平